



# 前立腺炎 ってなに?



どんな  
病気?

去勢をしていないオスに多い、前立腺に細菌が感染して炎症を起こす病気。

去勢手術をしていない、6,7才以降の犬に見られることが多く、前立腺炎にかかった犬の多くに、加齢による前立腺肥大や前立腺嚢胞(液体がたまった袋ができる)が見られることから、前立腺の肥大や病気があると、前立腺炎を合併しやすいと考えられます。前立腺炎は、放置して悪化させてしまうと、命にかかわる状態になることもあります。

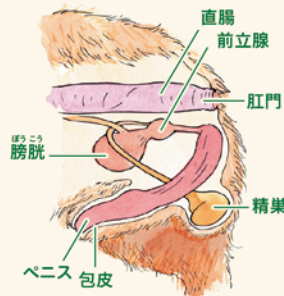


おもな  
原因

直接の原因は細菌感染ですが、**前立腺の肥大や病気がある、細菌が繁殖しやすい状態になっていることも一因。**

**血流に乗った細菌が前立腺に感染**  
血管の中に入った歯周病菌が、血流に乗って前立腺の粘膜まで届き、感染することが原因です。

**前立腺の内部を通る尿道から感染**  
前立腺は尿道を取り囲むように存在しています。そのため、尿道から尿に含まれる細菌が入りこみやすいのです。



検査と  
治療

エコー検査や前立腺液の細菌検査などを実施し、治療は**細菌感染に対する内科治療**を中心に、前立腺肥大を伴う場合は、**肥大の改善を目的とした去勢手術**を行うのが一般的。

おもな検査

- 触診
- 直腸検査
- 血液検査
- エコー検査 / エックス線検査
- 尿検査
- 前立腺液の検査 (細菌・炎症)
- 細菌培養 / 感受性検査 など



一方、何らかの理由で外科治療ができず、内科治療を行う場合は、投薬で**症状の改善を促すほか、精巣ホルモンの働きを抑える薬を投与して前立腺を小さくする治療**を行う場合も。ただし、再発の可能性もあります。

＼発症に関連する病気／

**前立腺肥大や前立腺嚢胞**

前立腺が大きくなったり(前立腺肥大)、液体がたまった袋ができたり(前立腺嚢胞)すると、細菌が繁殖しやすい状態になると考えられています。

おもな症状

炎症からくる血尿や痛みのほか、肥大した前立腺が直腸を圧迫してウンチが出にくいといった症状も見られます。

- 血が混じったオシッコをする
- 少量のオシッコを何度もする
- 排便の姿勢をしてもウンチがなかなか出ない
- (排尿時の痛みのために)元気がない
- 発熱 など

発症しやすい年齢

**6,7才以降**

前立腺肥大がかかっている場合も多いため、肥大が進む未去勢の6才以降に発症することが多いです。



予防法

**若く健康なうちに去勢手術を受けることで、精巣や前立腺に関する多くの病気を防げます。**去勢手術を受けていない場合は、健康診断の際にエコー検査などで前立腺の状態を確認してもらおうといいでしょう。

＼前立腺炎以外にも…／

- 前立腺肥大
- 前立腺腫瘍
- 精巣腫瘍
- 前立腺嚢胞
- 精巣炎

などは、去勢手術で予防ができます。

いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が  
マイページから定期購読を申込みと  
**2号(2ヶ月分)無料!!**